

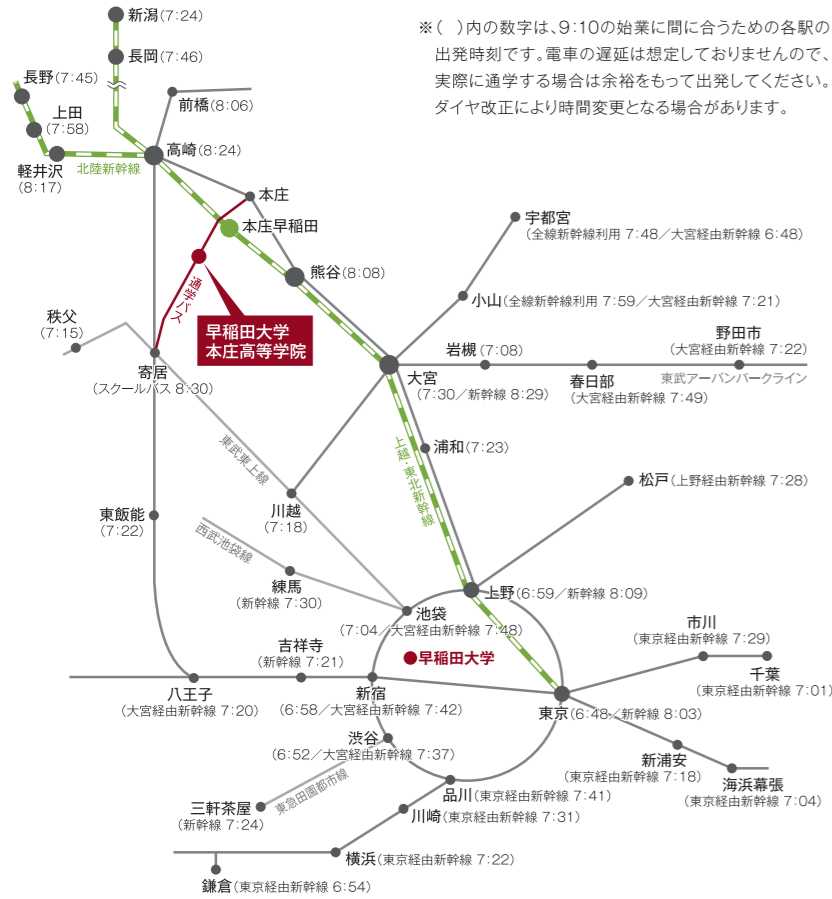
Access

電車利用の場合

本庄早稲田駅(上越・北陸新幹線)より徒歩約13分。
本庄駅(JR高崎線)より「スクールバス」またはタクシーで約13分。
寄居駅(JR、東武鉄道、秩父鉄道)より「スクールバス」またはタクシーで約30分。

自動車利用の場合

関越自動車道「本庄児玉インター」より車で約10分。



通学地域生徒数(2025年度)

●生徒寮	202	●群馬県	54	●神奈川県	26
●埼玉県	423	高崎市	26	横浜市	15
さいたま市	131	前橋市	19	川崎市	10
本庄市	49	太田市	6	鎌倉市	1
上尾市	26	渋川市	1	●千葉県	43
熊谷市	21	沼田市	1	浦安市	12
鴻巣市	20	富岡市	1	柏市	8
深谷市	18	●東京都	223	松戸市	5
川口市	17	練馬区	18	千葉市	4
桶川市	12	世田谷区	16	野田市	3
ふじみ野市	10	江東区	16	船橋市	3
川越市	9	杉並区	14	市川市	3
久喜市	9	品川区	13	流山市	2
上里町	9	大田区	10	習志野市	2
鶴ヶ島市	8	港区	10	成田市	1
坂戸市	7	北区	10	●栃木県	5
春日部市	7	目黒区	9	宇都宮市	3
朝霞市	7	文京区	8	那須塩原市	1
東松山市	6	板橋区	7	芳賀町	1
秩父市	5	新宿区	7	●茨城県	1
富士見市	4	渋谷区	6	つくば市	1
志木市	4	台東区	6	●新潟県	1
越谷市	3	三鷹区	6	長岡市	1
戸田市	3	武蔵野市	6	●長野県	2
吉川市	3	江戸川区	5	長野市	1
所沢市	3	足立区	5	軽井沢町	1
草加市	3	荒川区	5		
新座市	3	豊島区	4		
蕨市	2	葛飾区	4		
三郷市	2	中野区	4		
北本市	2	中央区	3		
日高市	2	国分寺市	3		
羽生市	2	八王子市	3		
小川町	2	小平市	3		
鳩山町	2	東久留米市	3		
行田市	1	墨田区	2		
幸手市	1	狛江市	2		
蓮田市	1	小金井市	2		
和光市	1	町田市	2		
加須市	1	多摩市	2		
狭山市	1	西東京市	1		
美里町	1	千代田区	1		
神川町	1	府中市	1		
毛呂山町	1	国立市	1		
横瀬町	1	調布市	1		
伊奈町	1	福生市	1		
松伏町	1	稲城市	1		
		あきる野市	1		
		立川市	1		

Information

学院説明会・生徒寮見学会

6月6日(土)、7月11日(土)、9月26日(土)

オンライン説明会



稲稜祭(文化祭)

10月31日(土)、11月1日(日)

※一般公開などの詳細は本学院WEBサイトでお知らせします。



早稲田大学本庄高等学院

〒367-0032 埼玉県本庄市栗崎239-3
TEL : 0495-21-2400(代) FAX : 0495-24-4065
https://www.waseda.jp/school/honjo/
E-mail : honjosh@list.waseda.jp
nyusi-honjosh@list.waseda.jp(受験生用お問い合わせ)

※掲載情報は2026年4月1日現在のものです。最新の情報は本学院WEBサイトでご確認ください。

本庄高等学院WEBサイト



早稲田大学本庄高等学院 概況

- 名称 / 早稲田大学本庄高等学院
- 学院長 / 半田亨
- 所在地 / 埼玉県本庄市栗崎239-3
- 課程 / 全日制課程 普通科
- 募集定員 / 第1学年 男女320名
- 一般入試 / 男子約95名、女子約95名
- 帰国生 / 男子約10名、女子約10名
- α選抜 / 男子約30名、女子約30名
- I選抜 / 男子約20名
- 指定校推薦 / 約30名

題字：瓜田結香(3年)



仲間と語り 未来をひらく



学院長挨拶

都の西北

「お前は幸せだ、みんなで校歌を歌うことができる。」これは、私が学生の頃、他大学に通う高校時代からの友人を東京六大学野球早慶戦に連れて行った時に、言われた言葉です。その友人は続けました。「自分は、自分の大学の校歌を知らない。」私は学生スポーツが好きで大学時代は頻繁に東京六大学野球、大学ラグビーなどの観戦に出かけましたが、そう言われてみるとその度に校歌を他の観客と一緒に歌っていたことに気づきます。研究室の飲み会でも、最後は校歌でした。年を重ねた今でも、稲門会や校友会の最後は校歌です。

受験生の皆さん、あなたは自身の中学校の校歌を、プライドを持って歌えていますか？小中学校では大きな声で歌っていたかもしれませんが、照れ臭くなるのが高校では大きな声で歌おうとしなくなります。そして、大学では、たぶん多くの学生が母校の校歌を歌えないのではないのでしょうか。

本庄高等学院の校歌と応援歌は早稲田大学と同じものですが、学院生はことあるごとに校歌「都の西北」や第一応援歌「紺碧の空」を歌いたがります。稲穂祭の後夜祭最後の「紺碧の空」は壮観です。本庄高等学院の他校とは異なる特徴は？と聞かれた時、「広大なキャンパス」「専門的な授業」「多様な課外プログラム」などたくさんありますが、校歌にプライドを持っている・校歌を歌いたがるところもその1つなのかもしれません。

学院生は入学後、5月末に神宮球場で開催される春の東京六大学野球早慶戦の応援に出かけます。1塁側早稲田、3塁側慶應のスタンドは、両大学の附属系属校の生徒で埋め尽くされます。ともに校歌と塾歌、応援歌を歌い、大学の一員になったことを実感する日です。

人間には、属しているソサエティに共通するもの

を共有している実感が重要です。共通するものとは例えば、伝統やしきたりであったり、価値観や考え方であったりします。時には厳格すぎるマナーであったり、意味のわからないルールだったりすることもあります。それらを共有することで、帰属意識や愛着、誇りが生まれ、人間的に成長します。自身の居場所があることで精神の安定が生じます。校歌は共有が簡単で帰属意識を高める効果の高い、化学反応の触媒のようなものです。もちろん、そのソサエティは「いることが楽しい」「成長していることが実感できる」場ではなくてはなりません。本庄高等学院は学院生同士、学院生と教職員、あるいは学院生と地域が互いに化学反応を起こしながら新しいものを生み出している、まさしくそのような場所です。学院生も教職員も、みんな本庄高等学院が大好きです。

早稲田大学校歌ができた1907年には、早稲田大学自体が「都の西北」に位置しましたが、都が大きくなって早稲田大学を包み込んでしまった今では本庄高等学院が「都の西北」です。以下は、校歌3番の私の好きなフレーズです。

あれ見よかしこの 常磐の森は 心のふるさと
われらが母校

受験生の皆さん、あなたの「心のふるさと」をここ、本庄の常磐の森に作りませんか？



早稲田大学本庄高等学院
学院長

半田 亨

沿革

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|---|
| 1882年 | 東京専門学校創立 | 2012年 | 現校舎竣工
生徒寮(現・男子寮)竣工、「早苗寮」と命名 |
| 1920年 | 早稲田大学早稲田高等学院設置 | 2015年 | 稲穂ホール棟竣工
文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール(SGH)
に指定される |
| 1982年 | 早稲田大学創立100周年記念事業として
早稲田大学本庄高等学院開校 | 2018年 | 女子寮竣工、「梓寮」と命名 |
| 1984年 | 第1回訪中修学旅行 | 2020年 | 体育館竣工 |
| 2002年 | 文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)
に指定される | 2022年 | 日本医科大学推薦入学制度開始 |
| 2007年 | 男女共学となる | | |

学院生の1日



豊原 琉生さん(3年)
埼玉県松伏町から通学

寮に入ることも考えましたが、通学できる距離だと判断し家から通うことにしました。家での睡眠時間をしっかり確保したいため、大宮駅から新幹線を利用して通学しています。通学時間を短縮できる分、自分の好きなことや勉強に時間を充てられ、朝も比較的早く起きられるのがメリットです。入学前は毎日片道約2時間の通学に体力的・精神的に耐えられるか、十分な睡眠時間が確保できるか心配でした。しかし、遠方から通学している仲間が存在が心の支えとなり、次第に慣れ、すぐに不安は解消されました。自分の好きなことに打ち込み、自由を謳歌できる素晴らしい学校です。一緒に楽しい学院生活を送りたいです！

新幹線通学生の1日

登校

通学中は、プリントや教科書を見て覚えるなどの暗記を中心に学習をしています。眠たい日は寝るなど、無理はしないよう心掛けています。

授業

授業は集中して受け、休み時間は友達と話したりゲームをしたりするなど、メリハリ



をつけて生活するようにしています。個性的な先生が多く、授業内容も興味深いものが多いので、毎日の授業が楽しいです。



部活が無いので、図書館や教室で勉強をしています。

放課後

帰宅中も同じく勉強をするようにしていますが、部活終わりは眠くなってしまいうちもありません。そんな時は、空いている座席があっても座らずに立って勉強するよう工夫しています。

新幹線通学の所要時間(校舎まで)	
発着駅	所要時間
大宮駅	約35分
上野駅	約55分
東京駅	約60分

~5:50 起床	6:00~ 朝食	6:40~8:35 登校	8:35~9:10 自習	9:10~15:40 授業	16:00~17:50 部活動	18:00~19:55 下校	20:00~ 入浴	20:40~ 夕食	21:20~ 自由時間	22:00~ 就寝
-------------	-------------	-----------------	-----------------	------------------	--------------------	-------------------	--------------	--------------	----------------	--------------

「本庄は遠い」「通学が大変そう」なんて、思っていないですか。

実際の学院生は、生活のリズムを上手に整えながら、五感が研ぎ澄まされる快適なキャンパス環境のもと、のびのびと安心して日々を送っています。このページでは、自宅通学生と寮生、それぞれの学院生の1日の流れを紹介します。時間の使い方を工夫しつつ自身の興味関心を自由に深め、さまざまな課外活動にも熱心に取り組む先輩たちの姿から、あなた自身の「学院生活」を想像してみてください。



武田 悠里さん(3年)

青森県出身のため寮寮に入寮しました。寮寮は学院から徒歩15分ほどの場所に位置していますが、私は朝の自習時間を確保したいので自転車通勤しています。朝の準備時間を多く持てることや、目と鼻の先にある新幹線の駅から帰省しやすいことが寮生活のメリットです。入学前は、家事全般が苦手なので1人で過ごせるか、1人部屋で勉強を怠れないか心配でしたが、寮の友達が快適に過ごせる家事のライフハックを教えてください、夜も食堂やラーニングコモンズで仲間と一緒に勉強ができたりと、毎日楽しく過ごせています。寮長さんや寮母さんのサポートもあり、安心して学業に励むことができます。皆さんの情熱と学問を求めるその心を、目一杯爆発させてください！この学校はきっと皆さんを受け入れてくれます。

梓寮生(女子寮)の1日

登校

通学前は、ご飯を食べて、身支度をしています。シャワーを浴びる時間もあります。またテスト前には早起して30分ほど自習をします。通学は約10分で、あまり人通りが少ない時間に出ているので、自然豊かなキャンパスを堪能できます。



授業

大好きな歴史について語り合うことが多いです。授業

でも分からないことがあったら先生にすぐに質問できるため、理解が深まります。



部活

月曜日と土曜日は茶道部、火曜日はスーパーサイエンスクラブに参加しています。また、それ以外の日は友達と山に入った日、本庄早稲田の杜ミュージアムに行ったり、趣味に費やして

います。

放課後

友達と話しつつ帰宅し、家事や勉強をします。夕食や入浴も友達と一緒になので、夜も楽しく過ごせます。



7:50~	8:00~	9:10~15:40	16:00~	17:00~	18:45~	20:00~	20:45~	21:30~	22:30~
~6:00 起床	7:15~ 朝食	授業	16:00~ 部活動・趣味	17:10~ 勉強	夕食	入浴	勉強	自由時間	就寝

登校

帰寮



長房 結花さん(3年)
東京都練馬区から通学

寮や新幹線も検討しましたが、家族と過ごしたいことや、電車が比較的空いていることから東武東上線での在来線通学を選びました。毎日まとまった通学時間があることで時間の使い方が上達し、隙間時間に勉強ができるようになるのが在来線通学の大きなメリットです。入学前は、2時間以上の通学時間による勉強と部活動の両立、そして頻繁な電車の遅延に不安を感じていました。しかし、電車内での学習により両立を実現でき、遅延の際も学院側の的確な対応があるため、当初の不安は解消され、充実した毎日を送っています。本庄高等学院にはどんな人でも輝ける場所があります。これまで努力してきた自分に自信をもって、ぜひ本庄高等学院に来てください！

在来線通学生の1日

登校

通学中は授業で出た課題に取り組んだり、単語帳を見たりすることが多いですが、寝ることもあります。私は本を読むことが好きなので、余裕がある日には読書をしています。友人とも一緒に通学しているので、毎朝話をしながら楽しく過ごしています。

授業

自宅での勉強時間を少しでも減らすために、授業中は



先生の話をしっかり聞き、その授業の中で学習内容を理解するよう努力しています。昼休みは友人と自由に散歩をしたり、球技大会前は体育館でバレーボールをしたりすることも多いです。



仲良くなれるので、毎日の部活が楽しみです。

放課後

帰りの電車でも勉強や読書をし、帰宅後はリラックスして過ごします。翌日に備えて夜更かしをしないよう注意します。

スクールバス

電車の発着および授業の始業と終業に合わせて運行しています。

発着駅	所要時間
本庄駅南口	約13分
寄居駅北口	約30分
松久駅	約20分

部活

ソフトテニス部とESSを兼部しています。様々なバックグラウンドを持つ仲間と

~5:30 起床	5:45~ 朝食	6:35~9:00 登校	9:10~15:40 授業	16:00~17:50 部活動	18:10~20:30 下校	20:30~ 夕食	21:30~ 入浴	22:00~ 自由時間	23:00~ 就寝
-------------	-------------	-----------------	------------------	--------------------	-------------------	--------------	--------------	----------------	--------------



武田 琥珀さん(3年)

寮生活に慣れてこの学校を第一志望にしていました。早苗寮は本庄駅の近くにあり、スクールバスを利用して通学しています。通学時間が短い分、自分の時間を自由に使えることが最大のメリットで、朝の余裕が授業への集中にもつながっています。もともと朝が苦手な、中学では始業5分前に起きることがあり規則正しい生活ができるか不安でしたが、就寝時間を固定しアラームを複数セットする工夫を重ねることで習慣化することができました。早起きも苦にならなくなり、充実した毎日を送っています。この学校には、やりたいことを全力でやれる環境があります。ぜひあなただけの学院生活を見つけてください！

早苗寮生(男子寮)の1日

登校

ゆっくり朝食を摂り、25分ほどの通学中は音楽を聴いたり車窓を眺めたりして過ごしています。テスト前は暗記に充てるなど、この時間も有効に使うようにしています。



授業

休み時間は友人と話したり、短い仮眠をとったりして過ごしています。昼食はランチタイムの食堂利用を基本にしつつ、20分休み(コーヒープレイク)やパンショップを利用するなど、臨機応変に対応しています。



部活

以前は3つの部を兼部していましたが、もっと向き合いたいと思い、現在は、陸上競

技部と美術部に活動を絞っています。部活動のない日はゆっくり過ごしています。

放課後

下校中も登校時と同様に音楽を聴いたり、友達と話したりしながら帰ります。帰寮後は夕食とお風呂を済ませ、残りの時間は勉強や読書をして過ごしています。オンオフを切り替えることが、寮生活を続けるコツだと思っています。



~6:30 起床	6:45~ 朝食	7:30~ 自習	8:00~	9:10~15:40 授業	16:00~18:30 部活動	18:40~ 帰寮	19:00~ 夕食	20:00~ 入浴	20:45~ 自由時間・勉強	23:00~ 就寝
-------------	-------------	-------------	-------	------------------	--------------------	--------------	--------------	--------------	-------------------	--------------

登校
(バス+徒歩)

特色豊かな教育

「自ら学び、自ら問う」姿勢を育み 総合的な理解力と個性的な判断力を伸ばす

本庄高等学院の教育の特徴は、その内容の深さと多様性にあります。授業が教育の基本であることはもちろんですが、特に大久保山学・3年次の選択科目では教科の枠にとらわれない総合的かつ専門的な学びを得ることができます。レポート・論文・プレゼンテーションの機会が多いことも本庄高等学院の特徴です。このことはアカデミックリテラシーとして積み重ねられ、卒業論文がその集大成となります。この3年間で学院生は知らぬ間に「自ら学び、自ら問う」姿勢を身につけます。



カリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー(p.08)の実現に向け、次の4つの領域を柱とした教育活動を行う。

- (1) 自由と多様性を尊重する校風のもと、学院生活の基盤となる気力・体力・知力の調和を図る。
- (2) 本庄地域の歴史的資源や大久保山周辺の自然環境を活用し、学びのあり方を拡張する。
- (3) 教科の枠にとらわれない先進的・実践的な教育と、卒業論文を集大成とする探究活動を推進する。
- (4) 個々の特性を伸ばす多彩な選択科目を設置し、将来を見すえたキャリア形成を支援する。

教育課程
詳細は
こちらへ



教育課程

教科	1年	2年	3年
国語	現代の国語② 言語文化②	文学国語② 古典探究②	論理国語③ 古典探究②
地理歴史	歴史総合②	世界史探究② 日本史探究②	地理総合②
公民	公共②	政治・経済②	
数学	数学I③ 数学A②	数学II③ 数学B③	文系 数学III②
			理系 数学III③ 数学C③
理科	化学基礎② 生物基礎②	物理基礎②	地学基礎②
			理系 化学③ 物理・生物③*2
保健体育	体育② 保健①	体育③ 保健①	体育②
芸術	音楽I・美術I②*1		
外国語	英語コミュニケーションI③ 論理・表現I②	英語コミュニケーションII④ 論理・表現II②	英語コミュニケーションIII④ 論理・表現III②
家庭	家庭基礎②		
情報	情報I②		
総合		総合的な探究の時間 (大久保山学)②	
理数		理数探究基礎(物理)①	
学校設定			自由選択科目文系⑫ 理系②
特別活動	HR①	HR①	HR①
単位合計	計32単位	計32単位	計32単位

*1. 音楽I、美術Iから1科目選択 *2. 物理、生物から1科目選択、生物選択の場合は進学学部・学科に制限あり

日課表

遠距離通学者のために9:10始業

第1時限	9:10~10:00
第2時限	10:10~11:00
コーヒーブレイク	
第3時限	11:20~12:10
第4時限	12:20~13:10
ランチタイム	
第5時限	13:50~14:40
第6時限	14:50~15:40

完全下校時刻18:40
水曜日・土曜日は第4時限で終了

2年次総合的な探究の時間

2年次に実施する総合的な学習の時間を「大久保山学」と呼んでいます。大久保山とは、校舎北西側の最高地点(海拔112m)を中心とするキャンパス一帯の丘陵地を指します。ここでの自然や地理、歴史遺物、高校生活を送る学院生の考えなどに題材を取り、従来の教科の枠にとらわれない担当教員独自の切り口で、授業を展開します。学期毎に3人の教員のオムニバス形式で授業を行います。受講生は3つの授業テーマの組み合わせから、自分の希望するものを登録します。ここで得た学際的かつ多面的な知識や方法を、卒論などのテーマ設定に活かすことを期待しています。

3年次選択科目

3年次には志望する進学先を想定し、7群(14時間)の選択科目を履修します。選択科目は大きく、理系・文系それぞれに応じて必ず選択しなくてはならない必修選択と、自分の学びたい内容を履修する自由選択に分かれます。自由選択科目の内容は、大学で学ぶ内容へのスムーズな接続を図るもの、色々な場面で役立つ教養や技術を身につけるもの、語学や芸術など多岐にわたります。

2026年度開講の自由選択科目

早稲田大学と文学、近現代文学、平家物語を読む、和歌を読む、地理学演習、日本近代史、フランス史、法学入門、経営学入門、国際関係論入門、代数学入門、解析学入門、農業と環境、スポーツサイエンス、食文化、情報II、アンサンブル、美術、字の成り立ち、中国語入門、スペイン語入門、Academic English など

卒業論文

3年間の学習の集大成として、2年次からすべての学院生が卒業論文に取り組みます。これは「自ら学び、自ら問う」という本学院の教育方針を具体化したものです。担当教員の指導を受けながら、調査・文献収集をし、自分の定めたテーマについて1,400字×15枚以上の論文にまとめます。この過程を通して、学院生たちは問題意識を持つこととその解決方法、学術的な調査の方法、客観的な説得力を持つ文章の書き方、著作権への配慮などを学び取ります。

卒業論文のテーマ例

- ・高校生の愛着スタイルとSNSの利用傾向
- ・C[∞]級微分可能多様体における胞体分割
- ・戦時下の日本におけるキリスト教の恭順と抵抗
- ・集合住宅におけるデザインとユーザビリティの共存

TOPICS

留学

海外への長期留学を希望する場合は、本庄高等学院の規定に従って1学年度(10ヶ月から12ヶ月)の間、留学することができます。その際、第一種留学(1年遅れて復学する)か第二種留学(1年遅れとならずに復学できる)のいずれかを選択します。学院生が留学により多様な思考力と語学力を身につけることを期待しています。

国際交流・短期留学

本学院は多くのMOU(交流協定)締結校を有しており、多彩な国際交流・短期留学への参加が可能です。多くの場合は1週間~10日程度の交流・留学ですが、国際高校生シンポジウムを主催したり参加したりする場合があります。ニュージーランドでは2週間~3週間のホームステイを基本とした短期留学を実施しています。この他に、国内連携校と共同で海外校との共同研究プログラムを実施しています。

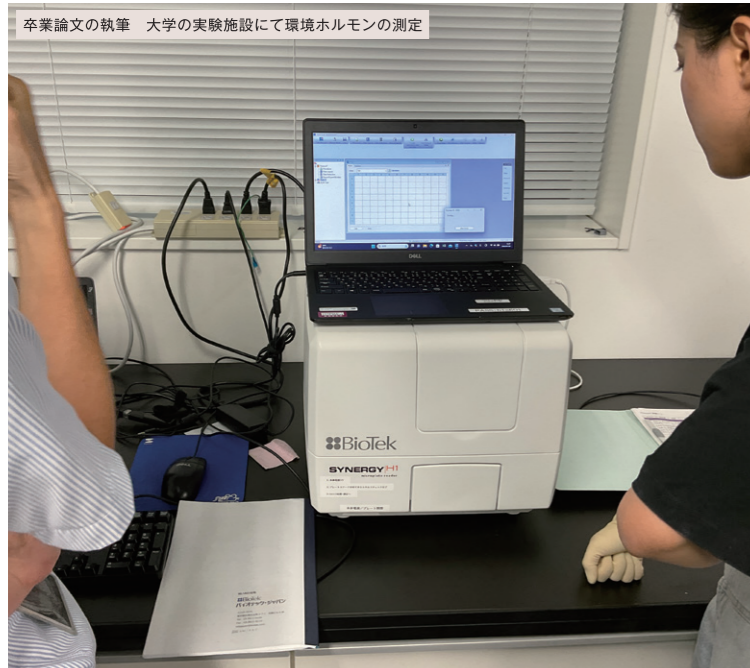
学術交流校・短期留学校

- 中国：蘇州中学(交流)
- 韓国：安養外国語高等学校(交流)
- Hana Academy Seoul(交流・留学)
- Saeromam Christian School(交流)
- 台湾：台中市立台中第一高級中学(交流)
- 国立台南第一高級中学(交流・共同研究)
- タイ：Mahidol Wittayanusorn School(交流・共同研究)
- ニュージーランド：Palmerston NorthおよびHawke's Bayの12校(留学)

高大一貫教育

学術研究の最前線と職業世界の醍醐味に触れ 学部進学の意味と将来展望を形成する

本庄高等学院は早稲田大学の附属校として「高大一貫教育」を展開しています。卒業基準を満たした学院生は、全員早稲田大学に進学できます。進学する学部は、学院生本人の志望に基づき、3年間の全科目の成績と卒業論文の評価で決定します。学院生自身が十分な時間をかけて学部・学科をしっかりと選択できるよう、本庄高等学院は年間を通じて、早稲田大学の教員によるモデル講義、専門家・卒業生らによる課外講義、各種のセミナーなどの機会を設けています。



グラデュエーション・ポリシー

学院生が、早稲田大学で学問を追究し、他者と協働しながら社会に貢献する人物となるために、次の4つの資質・能力を育成する。

- (1) 「自ら学び、自ら問う」ことを基本とする、自律的な学習姿勢を確立する。
- (2) 時勢に流されない自主独立の気風と、困難に立ち向かう進取の精神を有する。
- (3) 論理的思考力、総合的な判断力、豊かな創造力・表現力を身につける。
- (4) みずみずしい感性と確かな倫理観をもち、社会を牽引するリーダーシップを備える。

高大一貫教育の詳細はこちらへ

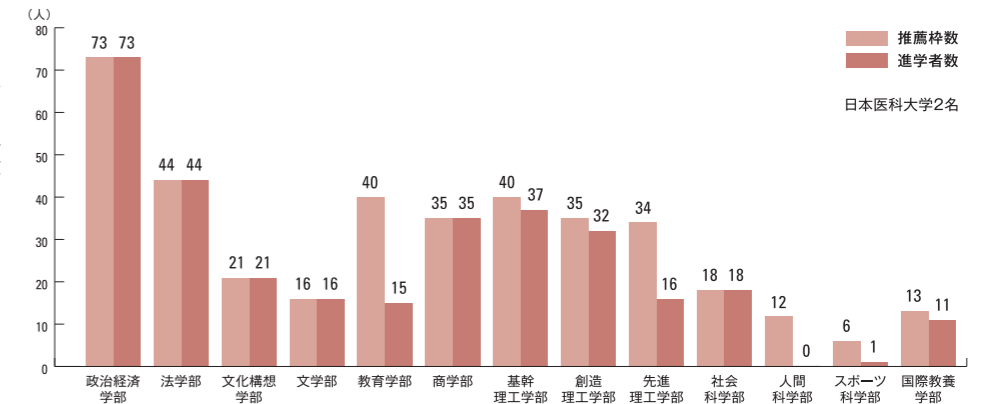


早稲田大学への進学

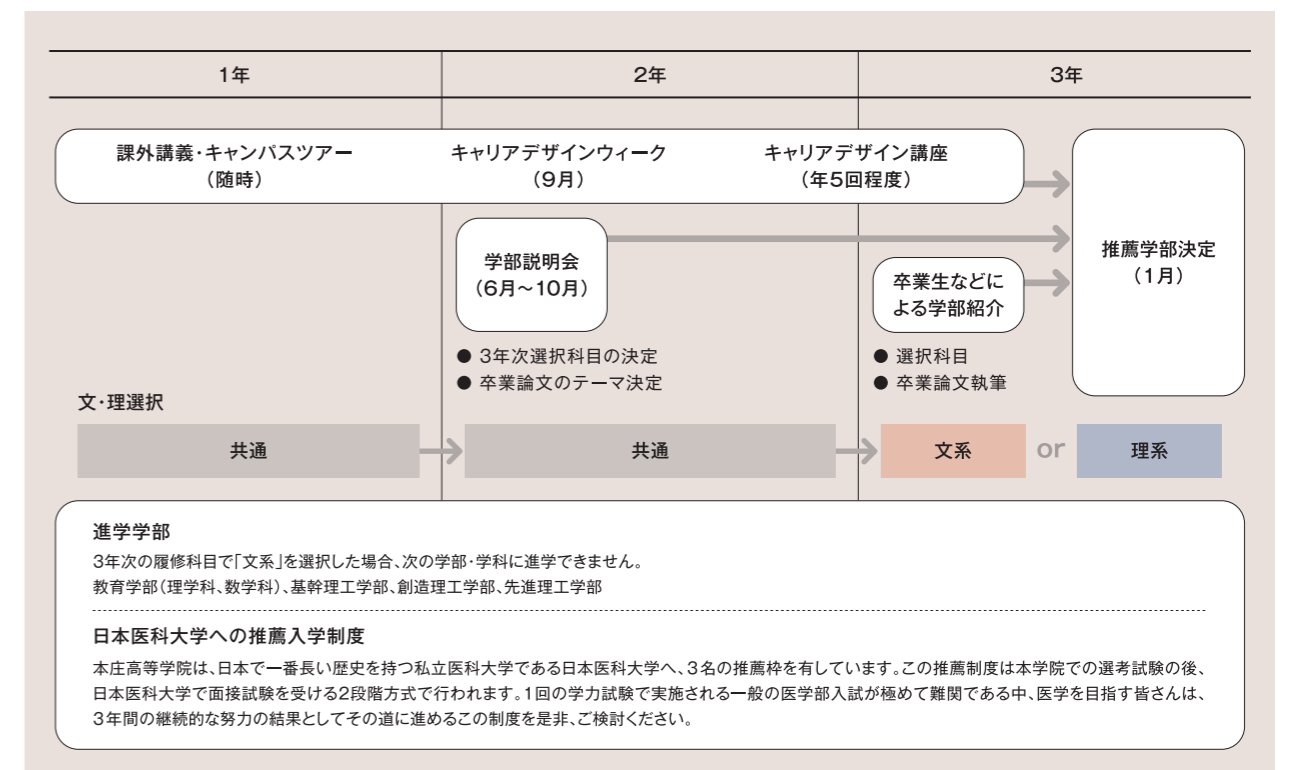
卒業基準を満たした学院生は全員早稲田大学に進学できます。進学する学部は、学院生本人の志望をふまえ、3年間の成績と卒業論文の評価で決定されます。

2026年春

卒業生数 323人
早稲田大学進学者数 319人



本庄高等学院から学部へ(学部選択・進路形成)



TOPICS

キャリアデザイン講座

本庄高等学院はミスマッチのない学部進学を目指すために、進路指導を重視しています。オフィシャルな学部説明会やキャンパスツアーなどの他に、学院生が自分の夢とする仕事を身近に理解し、そのためにはどの学部を目指すべきなのかという視点を持って欲しいと考え、各界で活躍する卒業生を招いたキャリアデザイン講座を月1回開催しています。



アントレプレナーシップ教育プログラム

アントレプレナーシップ教育とは、協働作業をとおし、解答のない問題を解決する資質や技術を身につけるためのプログラムであり、早稲田大学でも重点的に取り組んでいます。本庄高等学院では社会の問題を解決するリーダーシップを養成すべく、この教育を推進しています。2025年には、近隣の中学生に対して「本庄市にバナナカフェを作ろう」というテーマで、英語でこのプログラムを実践しました。



広大な学びのフィールド

本庄早稲田駅(上越・北陸新幹線)に隣接する丘陵地全体が、早稲田大学で最大の敷地面積を誇る「本庄キャンパス」です。ここでは、校舎・施設はもちろん、起伏に富んだ山々やキャンパス内に点在する古墳群までもが学びの舞台です。充実したキャンパス環境と、そこで展開される実践的な学びの数々をご覧ください。

校舎

創立30周年を機に建設された、地上3階建ての校舎です。普通教室のほか、美術室、理科実験室、家庭科調理室、ゼミ室、保健室、カウンセリングルームなどがあり、学び舎としての役割を担っています。また、1階には売店や食堂があり、キャンパスの外に出ることなく食事をすることが可能です。校舎内には、日頃から美術作品に親しんでほしいという思いから多数の絵画が飾られています。



稲稜ホール棟

2015年に竣工した稲稜ホール棟には、428座席を備える稲稜ホール、図書室、音楽室があります。図書室は、高校の図書室としてはトップレベルの蔵書数を誇ります。また大学図書館の蔵書を取り寄せて借りることもでき、卒業論文作成などに利用されています。

■蔵書数: 図書約13万冊



体育館・スポーツ施設

体育館は約1,440㎡のメインアリーナを有し、バレーボールコート3面、バスケットボールコート2面を展開可能。さらに、1階には卓球や剣道などに利用する多目的室やトレーニングルーム、講義室を備え、3階にはランニングコースも整備されています。また、キャンパス内には野球場、陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコートなど各種目専用の施設も完備しており、部活動にも専念できる環境が整えられています。



本庄早稲田の杜ミュージアム

2020年に開館した本庄市と早稲田大学が所蔵する文化財を共同で展示するミュージアムです。笑った表情をした盾持人物埴輪など本庄市内出土の考古資料、本庄の歴史を辿る映像・年表に加え、早稲田大学の貴重な所蔵品を企画展示しています。

■開館時間/9:00~16:30

■休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/28~1/3)

■入館料/無料

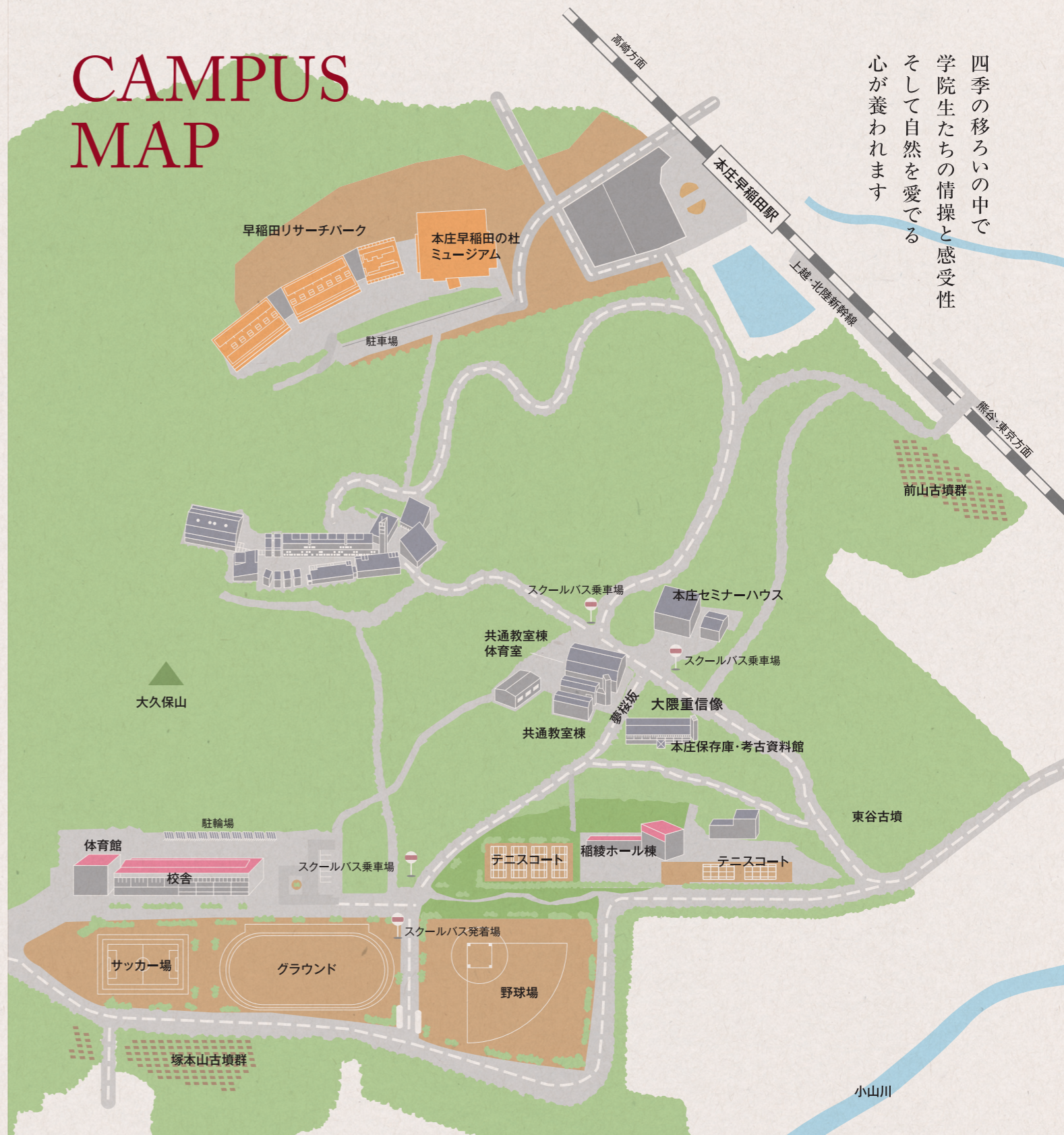


広大な敷地と豊かな自然、充実した施設をドローン映像でお届けします!



CAMPUS MAP

四季の移ろいの中で
学院生たちの情操と感受性
そして自然を愛でる
心が養われます



TOPICS

本庄キャンパスの魅力



キャンパス内には塚本山古墳群、前山古墳群、東谷古墳が点在し、実に100以上の前方後円墳・円墳を見ることができます。出土品は本庄早稲田の杜ミュージアムや考古資料館で見ることができます。



広大なキャンパスでは四季折々の草花・菌類を見ることができます。また、運が良ければタヌキ、ウサギ、キジなどの珍しい動物が見られるかもしれません。クワガタやカブトムシ、タマムシ、ナナフシなどの昆虫も随所に見られます。

next

実践的な教育への
取り組み

地域への貢献活動



本庄市の生涯学習プログラムや小学校での出前授業などを通して、学院生が地域に貢献する活動を行っています。小学生へのチアダンス・科学教育・環境教育・国際理解教育などの授業や市民の方へ向けた茶道教室・科学教室・調理教室など多彩な授業を実施しています。

風景写生



美術の授業では、風景写生を実施しています。里山を凝視しそれを一枚の紙に写し取る過程を通じて、自然への理解を深めます。この取り組みは開校以来続く伝統となっています。

河川環境保護活動



2009年より河川研究班を組織し、本庄市内の河川環境保護活動のプロジェクトを継続しています。また、市内の小学校へ環境教育授業を実施しています。長い地道な活動が評価され、多くの表彰を受けています。2025年夏には、台湾の高校と合同で台南市の河川調査も実施しました。

大久保山



3年次選択科目「地理学演習」の授業では、大久保山周辺の実地調査を行います。新旧の地形図や統計データを用いた実習を行い、学院周辺地域の特徴とその変化を把握します。それら事前学習を踏まえて、大久保山の地形や植生、土地利用を実際に歩きながら観察します。座学では得られない様々な事柄を発見しながら、身近な風景の成り立ちや人々の暮らしについて学習します。

本庄キャンパスの古墳



本庄市にはたくさんの古墳があり、本庄キャンパスの中にも、塚本山古墳群をはじめとする前方後円墳や円墳があります。この立地を利用して、本庄早稲田の杜ミュージアムや早稲田大学考古資料館と連携し、古墳についての調査活動を行っています。学院生は古墳の巡見、文献調査、考古学と物理学を組み合わせた学際研究といった様々なアプローチで活動を行っています。

実践的な教育への取り組み

本庄高等学院の教育の特徴の1つは、キャンパス環境の利用や地域との連携、そして国際交流を通じた実践的な経験を重視したプログラムにあります。机上の理論だけでなく、実際に触れる・訪問する・議論することを通じて理論と現実の間を何度も往復することを体験します。

四季の移ろいの中で人格と情操を育む

本庄市郊外、大久保山を中心とした広大な丘陵地帯が早稲田大学本庄キャンパスです。美しい林の中に季節の花が咲き、多種多様な動物が生息する自然豊かなキャンパスの中で、この環境を生かした体験的な学びを大切にしています。美術の授業での風景写生、生物の授業での動植物の観察法の実習、地学の授業での地球の大きさを測定する実習、歴史の授業での古墳の観察などがその例です。四季の移ろいを感じながらのびのびと過ごす3年間の学院生活は、情操と感性を豊かにし、将来豊かな人生を送ることに大きく寄与します。



社会と連携し学びの場を広げる

実際の社会の現場に足を運ぶことで、理論と現実の違いを知ることができます。本庄高等学院では、地域との連携を積極的に行っています。3年次選択科目「情報II」では本庄市役所・農家の方・金融関係の方の指導を受けながら、市の現状と分析を元に街おこしの戦略を考え、その効果的な情報発信を検討します。2025年はJAと連携し、地域野菜のブランド化プロジェクトに取り組みました。また、小学生や中学生に向けての授業、本庄市の生涯教育プログラムの講師を学院生が務めています。



世界の人々と協働できる人間の育成

異なる文化を有する仲間たちと一緒にディスカッションする経験は、多感な高校時代においてとても重要です。国内外の国際高校生シンポジウムに積極的に参加することで、英語での研究発表やディスカッションの場を経験させる機会を作っています。さらに2025年には、韓国の協定校との間で水問題テーマとするサマーキャンプをホスト校として実施し、環境問題について共同研究を行いました。このような国際交流を通して、世界を舞台にリーダーシップを発揮できる人材が育成されることを期待しています。



科学技術への興味を育てる多様な活動

多様な科学教育活動は本庄高等学院の特徴の1つです。科学への興味を育てることを目的として教員の専門を活かした課外講義「これがサイエンスだ!」を輪講形式で開催しています。長期休みには合宿も実施し、いくつかのテーマについてゼミを行うことで互いの理解を深めます。宇宙線を利用して古墳の非破壊検査を行うなど、学院生はプロジェクト形式でいくつものプログラムに取り組んでいます。また、学校の持つリソースを市民の方々に還元すべく、「科学教室」を開催し、学院生が講師を務めていることも特徴です。将来、科学技術大国日本を背負う科学技術者が輩出されることを期待しています。



3年間の学院生活



友人と送る何物にも代えがたい 本庄高等学院での生活

学院生活の基本は、授業、行事、そして部活動です。毎年重なる行事によって学院生活に季節感とメリハリが加わり、クラスメイトとの団結心が形成されます。部活動では仲間と同じ目標に取り組むことで向上心と達成感が得られます。それらは、将来かけがえのない思い出となって心に刻まれます。



学院行事

- | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|
| 4月
■入学式
■始業式・対面式
■新入生ガイダンス
■卒業論文
第1次中間報告
■日本医科大学
キャンパスツアー | 5月
■生徒総会
■中間試験
■早慶戦応援
(東京六大学野球) | 6月
■体育祭
■保護者会
■2年学部説明会
(~10月まで随時) | 7月
■期末試験
■夏季休業
(7月中旬~9月上旬) | 9月
■卒業論文
第2次中間報告
■キャリアデザイン
ウィーク | 10月
■3年修学旅行
■1・2年学年行事
■1・2年球技大会
■中間試験 |
| 11月
■稲稜祭
■芸術鑑賞教室
■生徒会役員選挙 | 12月
■期末試験
■冬季休業
(12月中旬~1月上旬)
■保護者会
■3年卒業論文提出 | 1月
■3年学年末試験
■3年推薦学部発表 | 2月
■卒業論文報告会
■入学決定者の集い | 3月
■1・2年学年末試験
■終業式
■卒業式
■春季休業
(3月中旬~4月上旬) | |



対面式



早慶戦



芸術鑑賞教室



卒業論文報告会

クラブ活動

文化部門一覧 ※2026年4月現在

- 文芸部 ■地学部 ■スーパーサイエンスクラブ ■美術部
- グリークラブ ■プラスバンド部 ■E.S.S. ■写真部
- 囲碁・将棋部 ■軽音楽部 ■ピアノ部 ■地歴部 ■数学研究会
- 競技かるた部 ■演劇部 ■映画部 ■書道部 ■政治経済部
- 茶道部

運動部門一覧 ※2026年4月現在

- 陸上競技部(男女) ■サッカー部(男) ■ラグビー部(男)
- 硬式テニス部(男女) ■ソフトテニス部(男女) ■硬式野球部(男)
- バレーボール部(男) ■バスケットボール部(男女)
- 剣道部(男女) ■卓球部(男女) ■バドミントン部(男女)
- ワンダーフォーゲル部(男女) ■応援部(男女)
- 自転車部(男)



女子バスケットボール部



ラグビー部



書道部



茶道部

プロジェクト活動一覧

- 附属連携プロジェクト(WASS)
早稲田大学高等学院と一緒に学院生活を充実させるプログラムの検討を行います。
- 国際交流プロジェクト
海外の高校との交流、国際シンポジウムへの参加を行います。
- 地域貢献プロジェクト
地域の子供達への授業や地域企業との連携活動を通して地域に貢献します。
- 科学啓発プロジェクト
地域連携などを通して、広く市民の方たちと科学の楽しさを共有します。
- 考古学プロジェクト
地域の考古資料を題材として考古学への理解を深めます。
- 模擬裁判プロジェクト
模擬裁判選手権への参加及び裁判制度への理解を深める活動を行います。

生徒寮

生徒寮の
詳細は
こちらへ



365日滞在可能な生徒寮で 自立心と仲間との絆を育む

遠方から入学を希望する生徒や、時間を有効活用したい生徒、そして、親元を離れ自立心や協調性を身につけたい生徒などのために、本庄高等学院は生徒寮を設けています。男子専用の「早苗寮」(JR本庄駅から徒歩3分)、女子専用の「梓寮」(新幹線本庄早稲田駅から徒歩1分)があり、多くの生徒が共同生活を送っています。寮生には、楽しくも厳しい「本物の自由」を理解した上で主体的に日々を過ごし、寮運営や寮の行事にも積極的に関わることが期待されます。

早苗寮



梓寮



早苗寮・梓寮に関するよくある質問

- Q** 入寮を希望すれば全員が寮に入れますか。
A 定員の範囲内で、通学時間や距離、その他の事情を総合的に判断して、本学院が入居者を決定します。2018年に早苗寮・梓寮の2つになって以降、希望者は男女ともに全員が入寮できています。
- Q** 学年の途中から入居することはできますか。
A 空室があれば可能です。
- Q** 食事はありますか。
A 食事は朝・夕の2食、栄養士が立てた献立のもと提供されます。ただし、日曜・祝日と指定の休食日(お盆期間・年末年始など年間19日)はありません。
- Q** 部屋は個室ですか。
A 部屋はすべて個室です。室内には机、ベッド、クローゼット、ミニ冷蔵庫、エアコン、インターネット回線などが完備されています。
- Q** 夏休みや年末年始にも寮にいることはできますか。
A 閉寮期間はありません。365日滞在可能です。
- Q** 外泊(帰省)はできますか。
A 週末や長期休暇中の外泊は可能です。事前に外泊願を提出してもらいます。
- Q** 友人や家族を寮内に招き入れてもよいですか。
A 寮生以外の友人や保護者を含む家族の立ち入りを禁止しています。
- Q** 管理スタッフは常駐していますか。
A 寮には常駐の管理スタッフとして、生活全般を見守る寮長・寮母の2名が住み込んでいます。学院の教員は常駐せず、巡回指導を行っています。寮生にはクラス担任とは別に十数人のグループごとの担当教員(寮担任)があり、定期的に寮を訪問して学習・生活指導をしたり、寮生からの相談を受けたりします。また、夜間や休日には警備員が巡回警備に当たっています。
- Q** 一時的に入寮することはできますか。
A 一時的な入寮はできず、原則として退寮は年度末になります。

施設・設備

	早苗寮(男子)	梓寮(女子)
部屋数	個室(136室)	個室(120室)
設備概要	竣工年 2012年 所在地 高崎線 本庄駅 徒歩3分 建築面積 745.27㎡ 延べ床面積 3443.10㎡ 階数 地上6階・地下1階 構造 鉄筋コンクリート造 エレベーター 南棟1基・北棟1基	竣工年 2018年 所在地 上越・北陸新幹線 本庄早稲田駅 徒歩1分 建築面積 1419.44㎡ 延べ床面積 3700.16㎡ 階数 地上4階 構造 鉄筋コンクリート造 エレベーター 1基
主な設備	地下1階 食堂(大型テレビ)・中庭・浴場 1階 エントランスホール ラウンジ(コピー機・自販機) 個室 机・椅子・ベッド・クローゼット・カーテン・エアコン・小型冷蔵庫 インターネット設備 浴場 完備。各階にシャワールームも有り。 その他 洗面・トイレ・洗濯機・乾燥機は共同。	1階 エントランスホール・食堂(大型テレビ)・ラーニングcommons 中庭・浴場・コピー機・自販機 個室 机・椅子・ベッド・クローゼット・カーテン・エアコン・小型冷蔵庫 インターネット設備 浴場 完備。各階にシャワールームも有り。 その他 洗面・トイレ・洗濯機・乾燥機は共同。

入居契約・入居費用(税込)

※2026年度実績

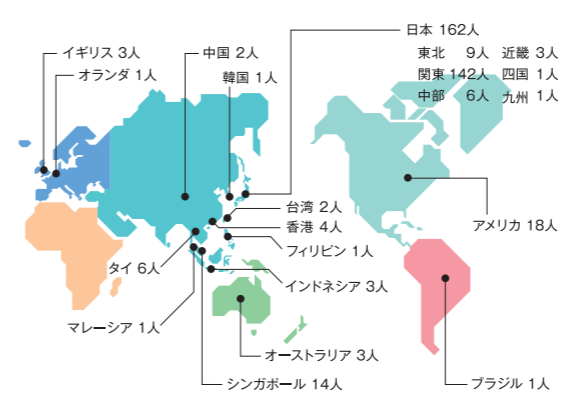
	早苗寮(男子)	梓寮(女子)
入寮時	入寮費120,000円、保証金 50,000円、 ベッドパッド代 2,000円	
年徴収	自治会費 3,000円、シーツ交換代 1,500円	
月額	寮費98,600円 (個室使用料、共益費、 食費など含む) ※コインランドリー費用が別途かかります。 ※日曜・祝日は食事の提供がありません。また、夏・冬休み期間 温習日など年間19日間程度の休食日があります。 実際の食事提供数にかかわらず、月額寮費は一定です。	寮費100,600円 (個室使用料、共益費、 食費など含む)

閉寮期間はありません(365日滞在可能)。

日課表

起床	6:30
朝食	6:45 ~ 8:15
夕食	18:00 ~ 20:30
入浴	18:00 ~ 23:00
門限	20:00(日・祝日21:00)
消灯	23:00

出身地域別寮生数 (2026年4月現在)



早苗寮 寮長・寮母メッセージ

初めて家族から離れ寮生活をされる子どもたち、最初は不安と期待でいっぱいだと思います。また、大切なお子様を送り出す保護者の皆様も心配は尽きないと思います。私たちは子どもたちの成長を見守り、早苗寮での生活が実りのあるものになるよう3年間サポートしていきたいと考えております。

梓寮 寮長・寮母メッセージ

寮生活はさまざまな環境で育った人々と集団生活をする場になります。自分と価値観の違う人と交流することは、これからの人生で大きなメリットとなることでしょう。生活するうえで最も大切なものは、健康です。楽しく健やかに過ごすために、私たちは常に近くでサポートしていきたいと考えております。



根岸 佑和 (3年)

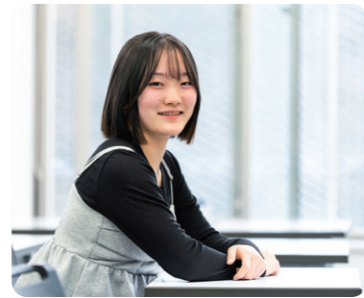
硬式野球部

自由な校風の中で自分を律する力が身につくことが本庄高等学院の魅力です。私は野球部で日々の練習に励んでいますが、「利他追求」という言葉を大事に、チームのために何が出来るか常に自身の行動を意識しています。仲間や顧問の先生の支えがあったおかげで、つらいことも乗り越えられ、心の面で大きく成長できました。本庄高等学院では、様々なバックグラウンドを持つ仲間に出会えるので、今までの自分にはなかった新しい視点や考え方を知ることができます。ぜひこの環境で多くの挑戦をしてほしいと思います。

高橋 文花 (3年)

国際交流プロジェクト(韓国研修、タイ研修)

本庄高等学院には、自らの好奇心のままに自由に学べる環境が整っています。国際交流に限らず多様なプロジェクトがあり、興味関心をとことん追求できるため、学院生一人ひとりの個性が輝いています。私は韓国やタイでの国際交流プロジェクトに参加しました。その際に先輩や先生方から教えていただいた論文執筆方法やプレゼンスキルは、日々の学院生活にも活かされています。自然に囲まれた穏やかな環境で、こんなにも刺激的な高校生活を送れる人は極わずかです。みなさんにもぜひその一員になってほしいです。



伊藤 真里恵 (3年)

美術部、稲稜祭実行委員長

個性豊かな生徒が集まり、それぞれの特技や才能を発揮できる場があることが本庄高等学院の魅力です。特に稲稜祭などの行事ではそのよさを強く感じられます。昨年は稲稜祭副実行委員長として学院生が楽しめる文化祭を目指し、企画づくりや運営サポートに奔走しました。多くの支えの中で責任を持って取り組んだ経験は、大きな達成感と自信につながりました。この経験を活かして今年の稲稜祭もより良いものにしたいです。どんな人にも毎日楽しい学院生活がきっと待っています！ぜひ最後まで全力を尽くしてください！

岡崎 春香

教員 芸術科(美術)、美術部顧問

なんといっても美しい自然が本庄高等学院の魅力です。四季折々の変化を感じさせる植物や風景は、心を癒すだけでなく、インスピレーションも与えてくれます。自然を生かした授業や取り組みも多くあります。美術の授業では、言葉だけでは伝えきれないイメージを形にして表現することに取り組んでいます。また、作品だけでなく、制作の過程や思いを言語化することも大切にしています。学院生活の中では自分の考えを伝える機会が多くあります。自分の中にあるイメージを形にして伝えることに、ぜひ挑戦してほしいと思っています。



杉内 光成

教員 英語科、サッカー部顧問

本庄高等学院の魅力は、選択の自由があることです。様々な活動に挑戦する門戸が常に開かれています。その環境を最大限に活かし、学問にも課外活動にも懸命に取り組む学院生は、とても生き生きとしています。私はインタラクティブと知的好奇心を大切に授業をモットーにしています。英語でのインタラクティブを通して、学院生も教員も多くのことを学ぶことができます。様々なバックグラウンドを持つ学院生との授業は、驚きに満ちています。ぜひ一緒に、本庄の地で活気に満ちた授業をつくっていきましょう。

矢島 史仁

教員 数学科、男子バスケットボール部顧問

受験生の皆さんは好きな学問がありますか。高校を目指すくらいですから何かしらあると思います。それでは、その「好き」をもっと伸ばせる環境とは、どのようなものでしょうか。学問に打ち込むためには様々な要素が必要です。志を一にする仲間や師、議論を歓迎する風土、じっくりと思索する時間——こうした要素が高いレベルで揃っていることが本学院の魅力であるように思います。数学科では、個性的なカリキュラムや多彩な科目設定、多様な専門性を有する教員同士の連携により、皆さんの「好き」を応援しています。



みなさんにお伺いします

早稲田大学 本庄高等学院の魅力とは

大塚 隼平 (3年)

ブラスバンド部、軽音楽部

本庄高等学院では、学びたいことに没頭し、自主性を高めることができます。卒業論文は自分の好きなテーマで研究できるので、私は特技であるビートボックスをテーマにしました。このように個性が尊重される学院生活では、多種多様な価値観や生き方に出会うことができるので、自ずと物事を多角的に捉えることが得意になりました。熱中したいものがあれば、それに打ち込める。熱中したいものがなければ、それを見つめる旅に出られる。学院はそんな場所です。この場所で有意義な3年間を過ごしませんか？



和氣 彩華 (3年)

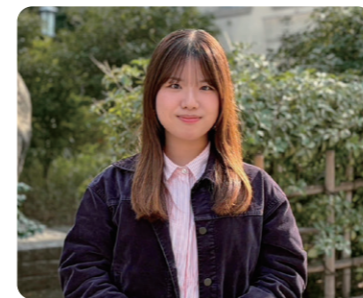
茶道部、E.S.S.、生徒会副会長

大学受験がない分、自分の興味関心をのびのびと伸ばすことができます。本庄高等学院には課外活動に参加できる機会が多く、私はこれまで本庄市と市内の高校による合同文化祭や、附属校が連携して活動するプロジェクトWASSの運営、生徒会執行部としての活動などに挑戦してきました。その中で、周りの人と支え合いながら物事を進める大切さを学び、うまくいかない経験も成長につながることを実感しました。本庄高等学院での経験は必ずみなさんの成長のきっかけになるはずです。自分の興味を大事に、みなさんの挑戦を応援しています！

菊地 亮佑 (3年)

河川研究班、稲稜祭実行委員会

本庄高等学院には魅力的な授業が多くあります。歴史や物理等の視点から本庄キャンパスを学ぶ「大久保山学」や、山に散策に行きデッサンする美術の授業はその一例です。授業内ではプレゼンテーションやレポート課題が多く、受験勉強だけでは培えない力を養えます。文理選択も3年生からと遅いので、将来をじっくり考えられるのも附属高ならではの魅力です。高校受験の合格はあくまでも通過点に過ぎません。本庄高等学院は「何がしたいのか」「何者になりたいのか」を見つける手助けをしてくれます。受験生ふぁいとー！



松本 莉子

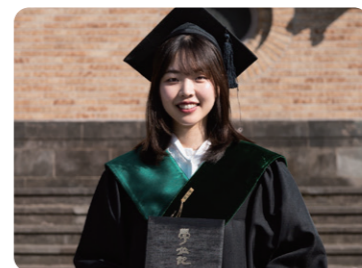
早稲田大学 創造理工学部社会環境工学科(2年)

本庄高等学院の魅力は、専門的知識の豊富な先生方の丁寧な指導のもと、興味があることに力を注ぐことができる点です。私はフィールドワークを中心とした研究活動に取り組みましたが、方向性に悩んだ際も先生方の豊富な経験に基づくアドバイスに助けられ、困難を乗り越えることができました。受験に縛られず、質の高い学問に没頭できる日々は、自分を大きく成長させてくれます。皆さんも本庄高等学院で将来につながる質の高い学びをしてみてください。

爲田 夏実

早稲田大学 法科大学院 修了
79期司法修習生

自由な環境だからこそ本庄高等学院では、自ら考えて選択・行動する力を身につけることができます。法曹の道に興味があったので、学院時代には模擬裁判選手権に参加するなど法律に触れる機会を積極的に作りました。法曹の方が講師のキャリアデザイン講座に参加したことも、自分の目標を再認識する助けとなりました。本庄高等学院で身につけた「自ら選択する力」で、進学先の法学部を3年卒業し、司法試験にも合格できました。自分の興味を大切にできる充実した高校生活をぜひ本庄高等学院で過ごしてください。



田形 拓郎

早稲田大学 教育学部社会科学部専修 卒業
豊通ソーテック株式会社 代表取締役社長

多様な個性を尊重しあい、挑戦に対して周囲が応援してくれるのが本庄高等学院の魅力です。人の距離感の親和性や相手の気持ちの行間まで読む寛容さが、個々の能力を引き立てる環境でした。ラグビー部の仲間との個性を尊重しあった役割分担や音楽の授業、全校イベントでの登壇経験は、私の「自己表現力」を鍛えてくれました。本庄高等学院で学ぶ3年間は、その後の人生の礎そのものだと感じています。一生の宝となる仲間との出会いを大切に、豊かな感性に磨きかけられる学院生活を大いに楽しんでください。

2027年度 入学試験概要 (2027年4月入学者用)

国内生 「一般入学試験」と「 α 選抜(自己推薦入学試験)」は併願できます

一般入学試験

募集概要

募集定員	男子:約95名 女子:約95名
出願期間	2027年1月11日(月)~2027年1月26日(火)[消印有効]
試験日	2月9日(火)国語・英語・数学(各50分)
合格者発表	2月14日(日)
学費等納入締切	2月16日(火)
入学手続申請締切	2月16日(火)16:00
書類等作成・提出締切	3月6日(土)

※詳細は入学試験要項をご確認ください。

出願資格

以下(1)(2)のすべての要件を満たしている者。

(1)2010年4月2日から2012年4月1日までに出生した者。

(2)次の(ア)(イ)のいずれかに該当する者。

(ア)日本国内の中学校あるいは中等教育学校(中高一貫校)の前期課程を、2027年3月に卒業(修了)見込みの者、あるいは2026年3月に卒業(修了)した者。

(イ)(ア)に該当しない者のうち、2027年3月までに国の内外を問わず通常の課程による9年間の学校教育を修了または修了見込みの者。

入学検定料

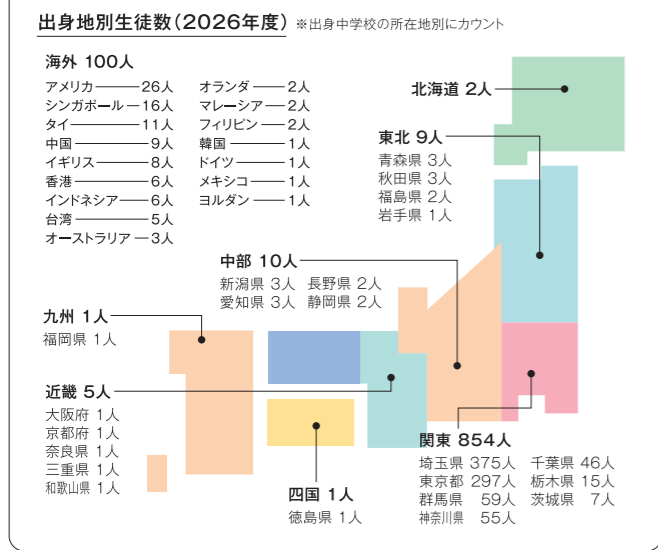
30,000円

入学試験場

早稲田大学早稲田キャンパス(東京都新宿区)

選考

可否は試験の結果と出願書類(調査書等)をふまえ、総合的に判断します。



授業料・奨学金について

登録料・学費等[2026年度]

(単位:円)

	1年		2年		3年	
	入学時	第2期	第1期	第2期	第1期	第2期
登録料	260,000					
授業料	342,000	342,000	366,000	366,000	384,000	384,000
教育環境整備費	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000
実験実習料	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
生徒会費	10,000		10,000		10,000	
日本スポーツ振興センター共済掛金	1,500		1,500		1,500	
合計	733,000	461,500	497,000	485,500	515,000	503,500

※2027年度の登録料・学費等については10月以降に公開の入学試験要項を確認してください。

α 選抜(自己推薦入学試験)

文化・芸術、スポーツ、語学・学術研究等のような分野でも、向上心をもって何かに打ち込み、学業全般と両立させて成果を得た者には、そこにいたる過程で身につけた特別な何か、すなわち「プラス α 」があるはずです。本庄高等学院は、これを重んじます。 α 選抜は、早稲田大学への進学を強く志し、何ごとにも意欲的で努力を惜みせず、これまで培ってきた「プラス α 」を活かして仲間と切磋琢磨しようとする生徒の入学を目的とします。

募集概要

募集定員	男子:約30名 女子:約30名
出願期間	2026年12月17日(木)~2027年1月5日(火)[必着]
第1次(書類選考)合格者発表	1月13日(水)
第2次選考	1月22日(金)面接
第2次合格者発表	1月26日(火)
学費等納入締切	1月28日(木)
入学手続申請締切	1月28日(木) 16:00
書類等作成・提出締切	3月6日(土)

※詳細は入学試験要項をご確認ください。

出願資格

次の(1)~(5)のすべての要件を満たしている者。

(1)本学院を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者。

(2)国内中学校(学校教育法第1条に定める、日本国内の中学校もしくは中等教育学校の前期課程)に2025年9月以降在学し、2027年3月に卒業・修了見込みであること。

(3)国内中学校でのすべての教科の学年成績(9教科5段階評価)に1および2がない者。かつ、2年次の成績が9教科5段階評価で合計38以上、3年次(2学期末まで)の成績が合計40以上であること。

(4)国内中学校での欠席日数の合計が30日未満である者。(ただし、けが・疾病等による長期欠席がある場合は欠席日数の合計が30日以上でも出願を認めることがある。その事由が調査書に明記されていること)

(5)国内中学校在学中に、次の(ア)~(ウ)のいずれかに該当する者。(ア)学校内外の諸活動により、文化・芸術・スポーツ等の分野で都道府県以上の大会またはコンクールに出場し、個人もしくは集団の一員として優れた成績をあげた。

(イ)資格試験・技能試験等で優れた成績・評価を得た。

(ウ)学業において総合的に極めて優秀であり、学校内外で積極的な諸活動を行った。

※帰国生認定を受けた受験生が α 選抜に出願した場合、帰国生入学試験には出願できず、一般入学試験のみ出願可能となります。

入学検定料

第1次(書類)選考:10,000円 第2次(面接)選考:20,000円

第2次選考会場

早稲田大学本庄高等学院(埼玉県本庄市)

留意事項

- 公認団体として本学院にない競技等であっても、 α 選抜でアピールすることができます。
- ただし、公認団体として本学院にない競技等については、入学後に本学院名を用いて連盟等の団体に登録することはできません。本学院の教員による引率や学校生活における配慮はできません。
- α 選抜でアピールした活動を本学院入学後に継続する義務はありません。

α 選抜の第2次選考は、2028年度入試より、筆記課題および面接となります。

奨学金[2026年度]

(単位:円)

種別	金額	募集人員	募集期間	成績優秀者	
				人数	金額
大隈記念奨学金	400,000(給付)	2・3年生各2名	4月		
小野梓記念奨学金	300,000(給付)	13名	2・3年生4月 1年生9月		
早稲田大学生協給付奨学金	300,000(給付)	1名	9月		
校友会給付奨学金	300,000(給付)	4名	9月		
本庄高等学院奨学金 ^{※1}	200,000(給付)	各学年4名	2・3年生4月 1年生9月		
早稲田カード奨学金	300,000(給付)	3名	9月		

※種別・金額および募集人員等は変更されることがあります。
※このほかに地方公共団体が運営する奨学金等があります。
※1.教職員・父母・一般篤志家からの寄付により設立されました。

アドミッション・ポリシー

次の4つの素養を身につけている生徒が、全国各地・世界各国から広く入学することを期待する。

- 早稲田大学および本学院で学ぶ強い意志がある。
- 各科目の学習内容を有機的に結び付けており、それらをより深める意欲をもっている。
- 社会に貢献する自身のあり方を展望し、生涯学び続ける喜びを享受したいと考えている。
- 多様な人々が社会に集い支えあっていることを理解し、互いに認めあう寛容な態度を備えている。

帰国生 「帰国生入学試験」と「I選抜(帰国生自己推薦入学試験)」は併願できます

帰国生入学試験・I選抜 共通

本学院は開校以来一貫して、早稲田大学を志す生徒を全世界から広く受け入れています。一人ひとりの個性を尊重し、確かな基礎学力の上に豊かな創造性と積極的な発信力を育む本学院の教育は、海外経験に支えられた帰国生のしなやかで逞しい適応力と語学能力により一層の磨きをかけます。さらに、世界各地の文化や生活を知る帰国生と日本全国から集まる生徒が互いに刺激し合うことによって、本学院は、生徒たちが未来の国際社会を見据え、豊かで深みのある価値観と人生観を醸成する場になっています。

出願資格

次の(1)~(3)のすべての要件を満たしている者。

(1)2010年4月2日から2012年4月1日までに出生した者。

(2)国の内外を問わず、通常の課程による9年間の学校教育を修了、または修了見込みであること。ただし、本学院が、中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者についてはこの限りではない(その場合には、2026年12月までの在学期間が明記された「在学証明書」を提出すること。また、2027年3月まで継続して在学すること)。

(3)海外在住期間が次の(ア)、(イ)のいずれかを満たす者。

(ア)2024年4月~2027年3月における海外在住期間の合計が原則として1年6ヶ月以上であること。

(イ)上記(ア)における海外在住期間の合計が1年以上1年6ヶ月未満の場合は、2020年4月~2027年3月における海外在住期間の合計が4年以上であること。

※「海外在住期間」とは「保護者と同居している期間」を指し、本人個人の留学期間等は該当しません。
※海外現地校等における9年間の学校教育とは、例えばアメリカのGrade9、イギリスのYear10、オーストラリアのYear9を指します。なお、例えばアメリカのGrade9、イギリスのYear10に在学中で、2027年3月末時点では修了しない場合でも、日本の中学校3年生の学齢に達している場合は基本的に出願資格(2)を満たします。

帰国生入学試験

募集概要

募集定員	男子:約10名 女子:約10名
出願期間	2027年1月11日(月)~2027年1月26日(火)[消印有効]
試験日	2月9日(火)国語・英語・数学(各50分)
合格者発表	2月14日(日)
学費等納入締切	2月16日(火)
入学手続申請締切	2月16日(火)16:00
書類等作成・提出締切	3月6日(土)

※詳細は入学試験要項をご確認ください。

入学検定料

30,000円

出願に必要な書類

(1)調査書・成績を証明する書類

海外の学校(日本人学校を除く)に在学したことがある場合は、その期間の成績を証明する書類(TRANSCRIPT、REPORT CARD等)を保管しておいてください。詳細は、出願資格の認定通知の際にお知らせします。

(2)出願資格認定通知書

※「I選抜」と併願する場合は、(1)~(2)の書類の提出は不要です。

入学試験場

早稲田大学早稲田キャンパス(東京都新宿区)

試験

国語・英語・数学の試験問題は、一般入学試験と同じです。

選考は一般入学試験と別で行います。

選考

可否は試験の結果と出願書類(調査書等)を踏まえ、総合的に判断します。

入学試験の詳細は、10月以降に公開する『入学試験要項』に記載します。

本学院WEBサイト「よくある質問」もご確認ください。

入学試験概要・入学試験要項



入試データ・過去問



よくある質問

